

☆河内長野市「いきいきフェスタ」(於・河内長野市立市民交流センター<キックス>)

9月10日(日)開催の「いきいきフェスタ」は無事終了しました。参加者は550名。今回「健康笑顔でつながる安心まちづくり 作ろう地域のきずな！」をテーマに、認知症講演会や料理教室の開催、介護用品の展示、求人コーナーでの相談等が行われました。

☆河内長野市「れんけいカフェ」(於・河内長野市医師会地域連携室会議室) <別紙>

<開所状況等>

<偶数月の第4水曜日の定期開催・予約不要>

○第7回は8月23日(水)に開催しました。会議には、医師、薬剤師、ケアマネジャーはじめ32名の参加があり、薬剤師会の残薬調整事業の取り組み報告があるとともに、「河内長野市サービス担当者会議ガイドライン」の編集、「終活」はじめ地域における医療介護福祉の諸課題等についてフリートークが行われました。

○第8回は10月25日(水)に開催(会議は午後2時からの予定)します。お気軽にお越し下さい。

☆河内長野市「フチれんけいカフェ」(於・河内長野市医師会地域連携室会議室) <別紙>

<趣旨・内容・開催日時>(略称：フチカフェ)

○今般、医療職とケアマネジャーとの意思の疎通を図るため、「なかなか聞けないけど、やっぱり聞きたい医療職とのスムーズな連携の方法」をテーマに、カフェ形式による懇談を中心にした勉強会的イベント(ケアマネジャー対象・少人数制・要予約・費用無料)、「フチカフェ」を、「れんけいカフェ」の一環として、開催することになりました。開催日時は次の通りです。

◎第1回第1日目：10月19日(木)午後3時～ <いずれも約1時間の予定で、3回とも同じ内容>

第2日目：10月24日(火)午前10時～

第3日目：10月25日(水)午後3時頃(「れんけいカフェ」の終了後)

※参加希望の場合は、必要事項(希望日、氏名、事業所名・FAX)を書いて、地域連携室あてFAXにてお申込み下さい(様式自由)。

☆河内長野市役所からの広報～防災への取り組み <別紙>

「広報かわちながの」(平成29年9月号)では、「災害から命を守る」というテーマのもと、防災対策がPRされています。災害伝言ダイヤル<171番>(パソコン・スマホ等：Web171)の活用や非常持ち出し品の列挙などが掲載されています。

また、大阪市立弘済院附属病院の市民公開講座「病院発！すぐに役立つ防災セミナー」(9月22日・金)では、「病気があっても災害に備える」と題して、防災に対する色々な対策や知識の伝授があり、下記のスマートファンの防災等無料アプリが紹介されました。

- ・Yahoo! JAPAN防災速報アプリ <https://emg.yahoo.co.jp/>
- ・NHKニュース・防災アプリ https://www3.nhk.or.jp/news/news_bousai_app/index.html
- ・緊急地震速報「ゆれくるコール」アプリ <http://www.rcsc.co.jp/yurekuru-c16se>
- ・大阪市防災アプリ <http://www.city.osaka.lg.jp/kikikanrishitsu/page/0000345020.html>
- ・日本薬剤師会「お薬手帳」アプリ <http://www-eokusuri.nichiyaku.or.jp/>

☆高齢運転者対策の推進(改正道路交通法施行)

※運転免許証の自主返納による「**運転経歴証明書**」の申請・交付：運転免許証の有効期限内に警察署等に申請(手数料1,000円)します。「運転経歴証明書」は公的な身分証明書として使え、その提示により、サポート企業等による各種特典があります。

※相談窓口：認知症高齢者の運転問題など困った時は、河内長野警察交通課交通総務係(0721-54-1234)にご相談下さい。

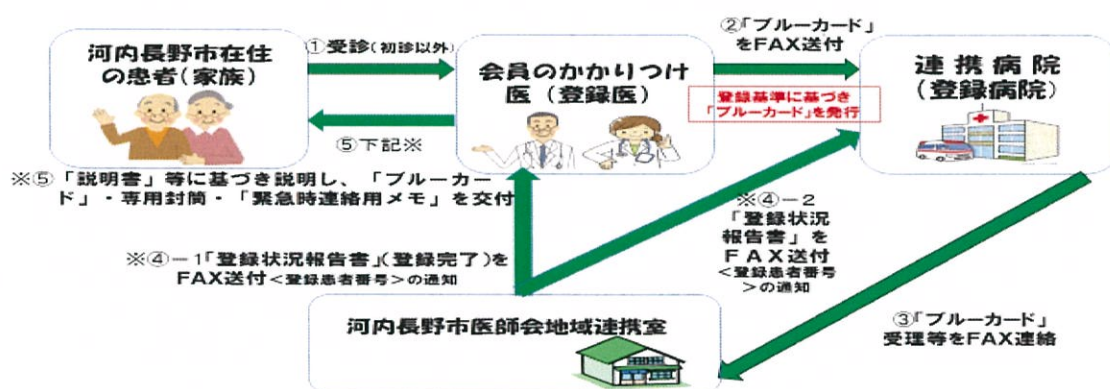
☆「河内長野市れんけいエチケット集」

多職種連携をする際に、相互に知っておきたいマナー、気をつけたいエチケットを文章化してまとめた標記エチケット集を配布中です。冊子希望の場合は、下記迄ご連絡下さい。なお、医師会ホームページ(地域連携室⇒エチケット集)から、PDF版のダウンロードも可能となっています。

☆河内長野市「ブルーカードシステム」

本システムは、緊急時患者受診(搬送)のための休日夜間(休診時)病状急変時対応システムで、事前に患者情報・キーパーソン等を登録し、急変時の受入れの「連携病院」を確保しておくものです。「ブルーカード」は、かかりつけ医が交付するもので、緊急時受診用のパスポートのような役割を果たします。現在その「連携病院」には、櫻本病院、さくら会病院(以上、大阪狭山市)、沢田病院、大阪南医療センター、岡記念病院、寺元記念病院(以上、河内長野市)の6病院が参画しています。

「ブルーカード」発行(新規)



☆河内長野市「地域包括支援センター」 ～気軽に、地域包括支援センターへ～

健康や介護、日常生活上の困りごとに関する相談、介護・福祉サービスの紹介や利用手続きの支援、成年後見制度の紹介、高齢者虐待相談等を行っています。下記()内は管轄区域です。

東部地域包括支援センター：0721-52-0180 (千代田、長野、川上各小学校区)

中部地域包括支援センター：0721-55-3451 (三日市、南花台、加賀田、石仏、天見、美加の台各小学校区)

西部地域包括支援センター：0721-56-6600 (楠、小山田、天野、高向各小学校区)

☆あとかき(編集後記)

10月、秋も半ば、「光陰矢のごとし」です。今後何か載せてほしい記事やご意見等、或いは紙ベースの本紙をご希望の場合は、下記迄ご連絡下さい。

監修 ☆ 河内長野市地域ケア会議(事務局：いきいき高齢・福祉課)

発行 ☆ 河内長野市医師会地域連携室(TEL 0721-54-1700・FAX 0721-54-1567)



第1回「フチれんけいカフェ」(フチカフェ)



<趣旨>

医療職とケアマネジャーとの意思の疎通を図るため、「なかなか聞けないけど、やっぱり聞きたい医療職とのスムーズな連携の方法」をテーマに、カフェ形式による懇談を中心にした勉強会的イベント、「**フチカフェ**」を開催することになりました。これは、河内長野市地域ケア会議における多職種連携のための「**れんけいカフェ**」の一環として行います。

<内容>

- ケアマネジャー対象、少人数制、要予約、費用無料
- アドバイザー・説明役は、河内長野市医師会職員他

<メニュー>

- 情報交換・名刺交換・「かわちながの連携シート」の使い方等
- 「河内長野市れんけいエチケット集」や「河内長野市サービス担当者会議ガイドライン」の案内等 etc.



<開催日時> 下記①～③は同じ内容で、その都度完結

- ①**10月19日(木)午後3時～ (約1時間の予定)**
- ②**10月24日(火)午前10時～ (約1時間の予定)**
- ③**10月25日(水)午後3時頃(「れんけいカフェ」終了後)～ (約1時間の予定)**

※アドバイザー・説明役は、変更になる場合があります。

※参加希望の場合は、必要事項(希望日、氏名、事業所名・FAX)を書いて、下記あてFAXにてお申込み下さい(様式自由)。

※「参加証」の発行はありません。定員超過によるお断り、或いは日時変更のお願いの場合、当室からFAXにてご連絡を差し上げます。連絡がない場合は、希望日時にそのままお越し下さい。

☆☆次回「れんけいカフェ」☆☆<専門職の方なら誰でも参加可・予約不要>

◆会議: 10月25日(水)午後2時～(約1時間の予定)

ガイドライン等の編集会議や情報提供、情報交換など

◆開所時間: 同日午後1時30分～5時(会議の前後はフリースペース)

◇マスターより◇

<連絡先・開催場所> 駐車スペースあります。

河内長野市医師会地域連携室(河内長野市菊水町2-13)
電話 0721-54-1700・FAX 0721-54-1567

避難情報に注意

災害の危険が迫っているときは、市から発令される避難情報に注意しましょう。

避難準備・高齢者等避難開始

避難勧告や避難指示（緊急）の発令が予想される場合

いつでも避難できるように準備をしましょう。身の危険を感じる人は、避難しましょう。

避難に時間を要する人（高齢者、障がい者、乳幼児がいる人）とその支援者は避難を開始しましょう。

避難勧告

災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まった場合

●避難場所に速やかに避難しましょう

※大雨などで避難場所に向かう途上が危険と思われる場合は、近くの頑丈な建物や自宅の2階など安全な場所に避難しましょう。

避難指示（緊急）

災害が発生し、状況がさらに悪化して人的被害の危険性が非常に高まった場合

●まだ避難していない場合は、直ちにその場から避難しましょう

※突発的な災害の場合は、市からの避難勧告などの発令が間に合わないこともあるため、必ずしも、この順番で発令されるとは限りません。また、これらの情報が発令されていなくても、身の危険を感じる場合は自主的に避難を開始してください。

安否の確認

※インターネットを利用できるパソコン(PC)でもメッセージを登録できます。(Web171で検索)

利用できます。

※インターネットを利用できるパソコン(PC)でもメッセージを登録できます。(Web171で検索)

「171」の番号でガイダンスにしたがって音声メッセージを録音しておく、家族などが「171」番をダイヤルして聞くことができます。固定電話や携帯電話から利用できます。

災害伝言ダイヤルの活用

要です。

連絡方法を確認しておくことが必要です。

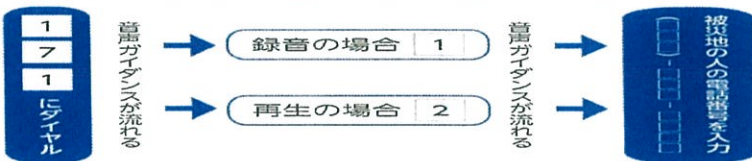
家族の集会所

あらかじめ家族の集会所を決め、通勤や通学先にいる場合は、連絡方法を確認しておくことが必要です。

check!

避難行動要支援者支援制度

市では、災害時における避難行動要支援者の支援を行うため、避難行動要支援者名簿を作成しています。名簿掲載者のうち、同意が得られた人の名簿情報を地域の避難支援関係者へ提供し、避難支援や安否確認などに役立てています。また、平常時の地域での見守りや日常的な支え合い活動にもつなげています。※登録対象者など詳しくは危機管理課まで問い合わせを。



非常持ち出し品

一例



貴重品

通帳、印鑑、現金、母子手帳など



食料品

ご飯（アルファ米）ビスケット、チョコなど



飲料水

一人一日3リットルを目安に



筆記用具

油性マジックなど



火をおこせるものライター、マッチ、ローソクなど



衛生用品

ウェットティッシュ、洗面用具、生理用品など



衣服など

下着や着替え、毛布、タオルやレジャーシート



救急用品

絆創膏、常備薬、ハサミ、毛抜きなど

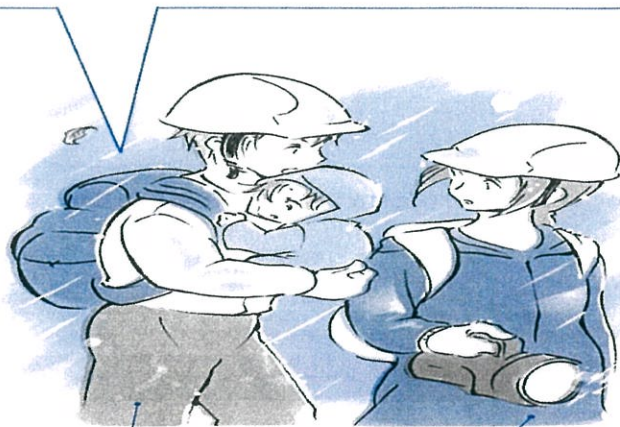
両手の使えるリュックなどにまとめて、すぐに持ち出せるようにしておきましょう。※男性で15キログラム、女性で10キログラム程度が目安です。

※乳幼児がいる家庭はミルク（離乳食）・おむつ・哺乳瓶や消毒液など、介護者がいる家庭は看護・介護用品など、ペットを飼っている家庭はペット用品など。



check! 避難持ち出しの便利グッズ (過去の震災の知恵)

- ◎手回しの懐中電灯つき携帯ラジオ
- ※携帯電話を充電できるもの 停電時や乾電池がなくても使用できる
- ◎包装ラップ
- 水のない所でも皿に敷いて使用、包帯の代わりに体に巻いて体の保温ができる
- ◎ビニール袋
- 防寒着やレインコートの代用、トイレなど汚物の処理、ポリタンクの代用として使用できる
- ◎旅行用下着セット
- 使い捨てで容易に使用できる
- ◎携帯（使い捨て）カイロ
- 体の保温の他に食料の温めなどに使用できる



ヘルメット・防災ずきん、マスク・手袋、長袖の衣服など、安全な格好で

懐中電灯、携帯ラジオ（予備の電池も忘れずに）